2020年2月15日

紙相撲新聞

第151回本場所
四～五日目号

編集・発行
日本紙相撲協会

美空春翔5連勝

千代鈴、十両昇進後26勝1敗
理事長期待の〝大〟綱嵐も絶好調

【第百五十一回本場所四日～五日目】

第151回紙相撲本場所は前開催日より1ヶ月が過ぎた2月15日、薄曇りながらも季節外れの暖かい天候のもと、幕内十両の四日目、五日目に併せて、新弟子検査のあと幕下と育成会の初日が練馬国技館にて取り行われた。

三日目までを取り終えて新春から3連勝で好スタートを切った横綱美空富士、大関春ノ翔、平幕の四季嶋、烏帽子岳、綱嵐の8名のうち、さらに白星を重ね5戦全勝としたのは横綱美空富士、大関春ノ翔、平幕の四季嶋、千代鈴、綱嵐の5名。

↑五日目、全勝の横綱美空富士は、平幕英筏に全く相撲を取らせず、黒房下に一気に寄り切った。本来の調子を取り戻したようだ。

本場所前の稽古総見で師匠の桐壺親方を心配させた美空富士だったが、いざ本場所の土俵に上がると第一人者としての風格を見せ安定感抜群の取り口で3連勝の好スタートを切って迎えた四日目。復調を見せる大神楽との一番も立ち会いから鋭い出足で前に出ると、左へ回り込もうとする大神楽を黒房下に一気に寄り切って完勝。

美空富○（寄り切り）●大神楽

続く五日目の英筏戦でも立ち会いから腰を低く落として一気に前に出て、英筏には何もさせず昨日に引き続き黒房下に寄り切って5戦全勝とした。この日までは全く危なげない相撲内容で完勝に退け、六日目以降も優勝戦線の先頭は譲りそうにない。

先場所からの好調さを持続させる大関春ノ翔、美空富士にも見劣りしないほどの安定感で四日目は小結出羽翼と対戦。この一番でも立ち会いで出羽翼の出足を受け止めると、鋭く前に出て正面土俵に寄り切り4連勝すると、続く五日目の白閃光戦でも立ち会いで出足を止めると一気に前に出て昨日の取り組みを再現する様に相手に全く相撲を取らせずあっさり5連勝を決めた。

春ノ翔○（寄り切り）●出羽翼

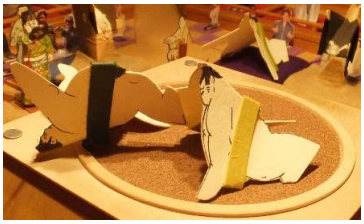
↑大関春ノ翔は美空以上の安定性を見せて、白閃光を寄り切り、こちらも5連勝。

ここまで美空富士のお株を奪う様な相撲で白星を重ね、六日目以降も横綱に並んで先頭を引っ張っていきそうだ。

先場所8勝を上げ三役が狙える位置まで番付を上げてきた四季嶋。3連勝で迎えた四日目は好調時に戻った感の烏帽子岳との全勝対決。その好調な相手に立ち会い攻め込まれるも、土俵際から押し返しのど輪から押し倒しに破り4連勝を決めると続く五日目は支那虎との一番。

左立ち会いから素早く攻めて入る隙を与えず一気に寄り切って5連勝を決めた。今場所は部屋頭の出羽翼、月山が苦戦を強いられているだけに、勝間田親方からの期待は大きい、このまま白星を重ねて優勝戦線を脈わせ新三役も手に入れたいところだろう。

支那虎●（寄り切り）○四季嶋



烏帽子●（押し倒し）○四季嶋

第151回本場所星取表

○○○○○	美空富士	横綱	若乃嶋	●○●●●
○○○○○	春ノ翔	大関	魁電	●●○○○
○○●○○	佐賀ノ海	関脇	源氏丸	●●●○●
●●●○○	出羽翼	小結	月山	●●●○○
●●○●○	若剣	前1	支那虎	●○●○●
○●○●○	大神楽	前2	礫昇	●○●●●
●●○○○	英筏	前3	白閃光	●○●●●
●○●○○	朱雀湖	前4	四季嶋	○○○○○
●○●○●	剣竜	前5	生駒山	●●●●●
○○●●●	超刃	前6	虎風	○●●●●
●●○○○	烏帽子岳	前7	虎剛力	●○●●○
●●○○●	玄武岩	前8	夢力	○○○○●
●●○●●	剛勇山	前9	角武蔵	●●●●●
○○○○○	千代鈴	前10	若旦	●○●○○
○●●●●	寶蔵	前11	富士ノ花	●●○○○
●●●○○	鳥海浪	前12	水晶嶽	●●●●●
●○●●●	阿吉那川	前13	伊達富士	○●○○●
●○○●●	大江錦	前14	照の王	○○○●○
○●●●●	鬼ヶ嶽	前15	綱嵐	○○○○○

●●○○○	鹿富士	十1	龍不動	○○○○○
●●●○○	虎ノ國	十2	太刀鳳	○○●○○
●○○●●	葵盛	十3	若佑	○○●●○
○●●●○	若柱	十4	櫻吹雪	○○○●●
●○○●○	日向藤	十5	喜乃郷	●○○●○
○○●○●	初戸	十6	桃乃洲	●●○●●
○●○○○	春雷	十7	粂ノ城	●●○○○
○●●●○	黒雲海	十8	山辺	●●○●○
●●○○○	天我	十9	麒麟王	●○○○●
●●●●○	大櫓	十10	三鷹	○●●○○
○○○○○	琴乃王	十11	冬牡丹	●○●●○
○●●●●	電幕	十12	菊の里	●●●●●
●●○●○	礫目ノ丸	十13	紅葉盛	●●●●○
●○●○○	西安	十14	雷若丸	●○○○●